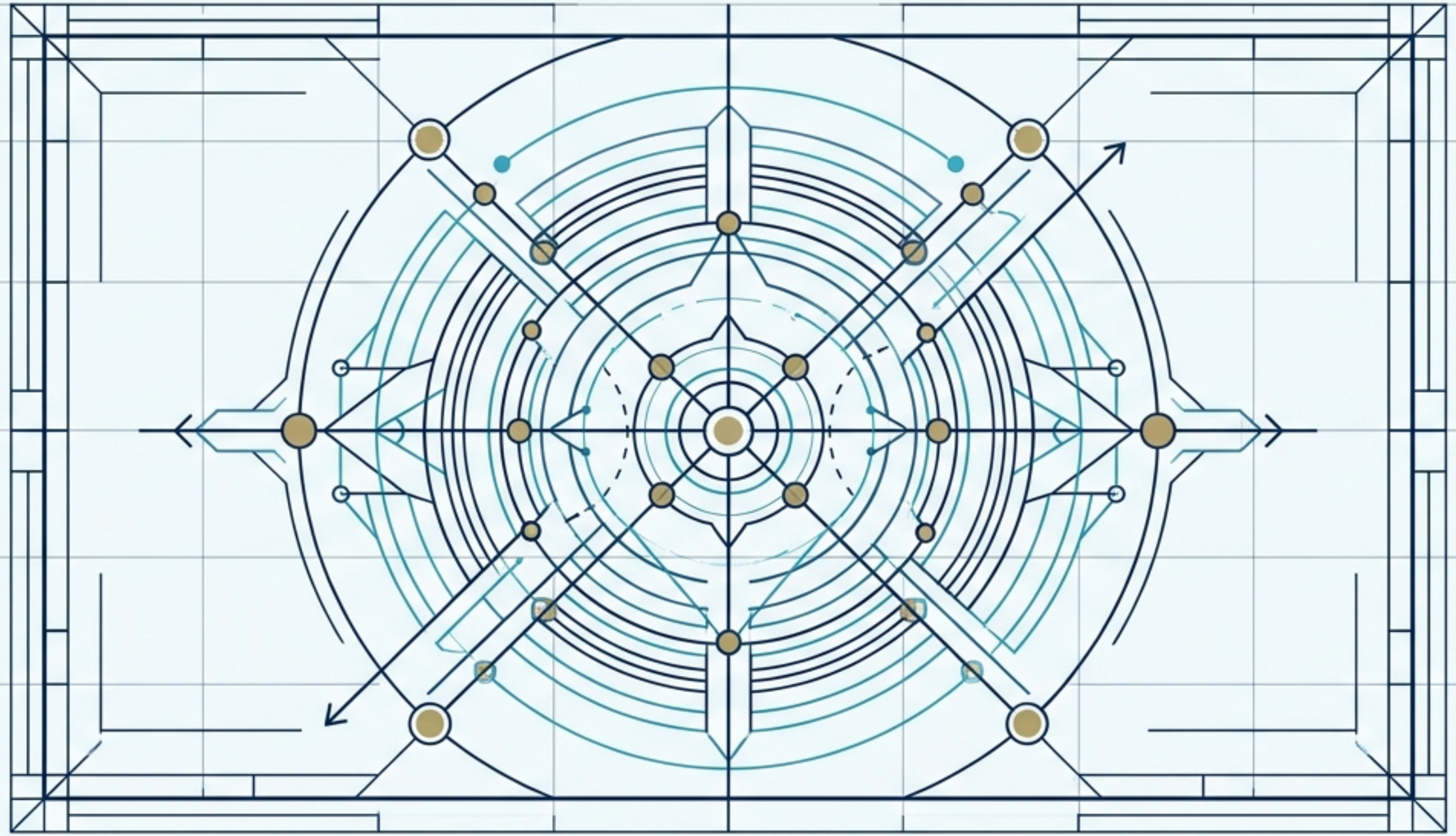


# 日本成長戦略がもたらす企業知財の構造的転換

## 2026-2030+ 無形資産のアーキテクトに向けた戦略的ロードマップ

Gemini Notebook

# 企業知財部門に迫る4つのパラダイムシフト



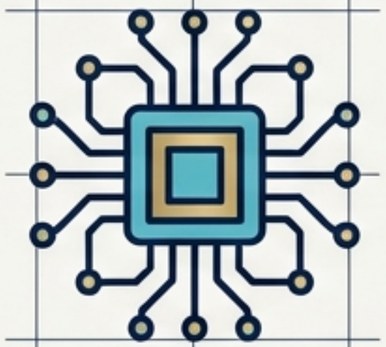
## 1. 国家投資 (Macro)

2040年まで官民累計370兆円超。単年度主義を打破する5年間の「集中投資期間」。



## 2. 優遇・政策 (Policy)

イノベーションボックス税制（30%控除）とIPランドスケープの義務化。



## 3. 技術・リスク (Technology)

フィジカルAI・次世代半導体へのシフトと、AI浸透に伴う三層の法的リスク。

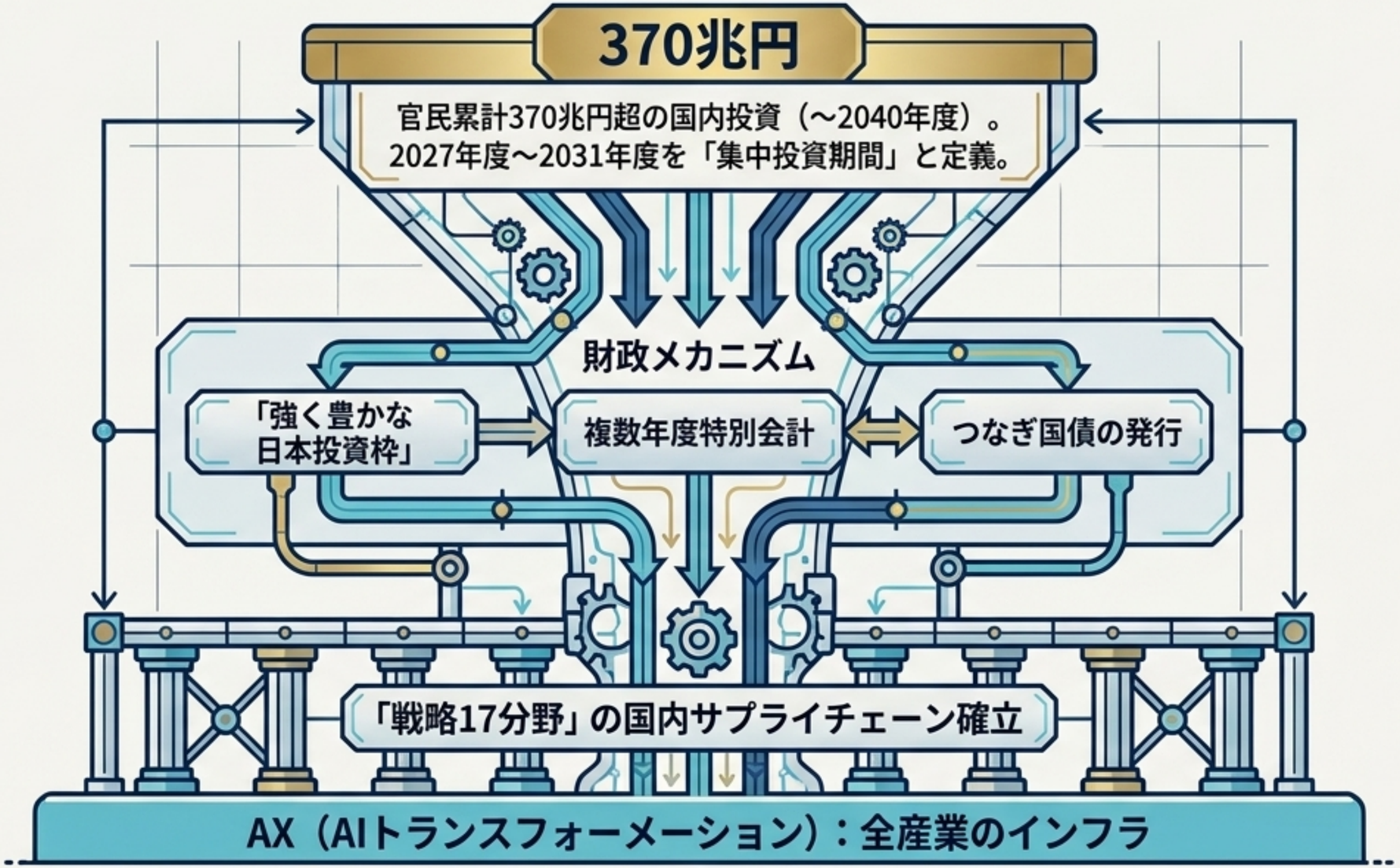


## 4. 実務の変容 (Operations)

AIエージェントによる自動化と「スマイルカーブ化」による知財専門職の再定義。

Gemini Notebook

# 国家主導の「370兆円」集中投資エンジン




Gemini Notebook

# イノベーション拠点税制がもたらす財務的インパクト




知財部門のKPI転換：「出願コスト抑制」から、
法人の課税所得控除への「直接的な財務貢献の証明」へ移行。

Gemini Notebook

# 資金獲得要件としてのIPランドスケープ義務化

## 従来の実務（Before）

単なる「出願前調査」

知財部内で完結する
防衛的プロセス

## 今後の要請（After）




**国家プロジェクト：**
戦略17分野における大型研究開発の事前・追跡評価の必須要件。

**コーポレートガバナンス：**
ガバナンス・コード改訂および有価証券報告書での「知財投資開示」との連動。経営対話能力の必須化。

Gemini Notebook

# 戦略領域における特許ポートフォリオの構造的転換



## フィジカルAI

**技術焦点:**
物理空間での自律動作、エッジリアルタイム推論、全身協調制御。

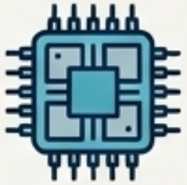
**知財構築:**
ソフトウェア・ハードウェア結合クレーム、センサー融合処理、フェイルセーフ機構。



## バーティカルAI

**技術焦点:**
製造・医療など特定業界データによる特化型推論。

**知財構築:**
ドメイン特化前処理技術、ファインチューニング手法、業務特有の出力検証プロセス。



## 次世代半導体・光電融合（IOWN）

**技術焦点:**
2nm以下先端ロジック、チップレット、光集積回路。

**知財構築:**
パッケージング構造、光導波路インターフェース、低消費電力アーキテクチャ。

Gemini Notebook

# 発明者適格性の法理：AI時代の「人間の関与」

日本の最高裁（2026年3月）確定：発明者は自然人に限定。

特許適格性の喪失リスク



自律型AI（DABUS等）



人間の関与（Conception）の客観的証跡




強固な特許権

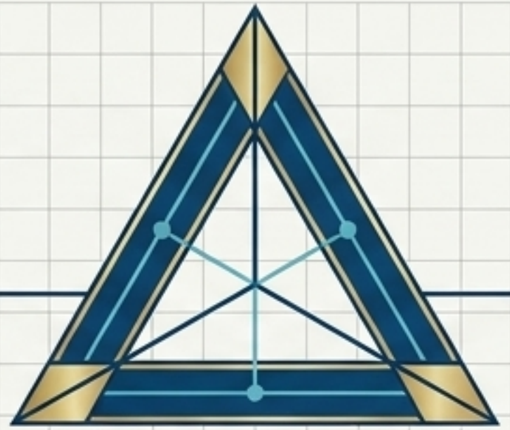
必要な証跡アーキテクチャ：
- 課題設定の記録
- プロンプトの試行錯誤ログ
- 出力の取捨選択と検証プロセス

Gemini Notebook

# 高性能AI浸透に伴う三層の法的リスクと統制

## 著作権（学習・生成リスク）

| | |
|---|---|
| 論点 | 第30条の4「非享受目的」の解釈。過度な追加学習による類似性の推認。 |
| 統制 | 学習データの出所管理（Provenance）、出力類似度判定、プロンプト監査。 |



高性能AIの実装

## 営業秘密（シャドーAIの脅威）

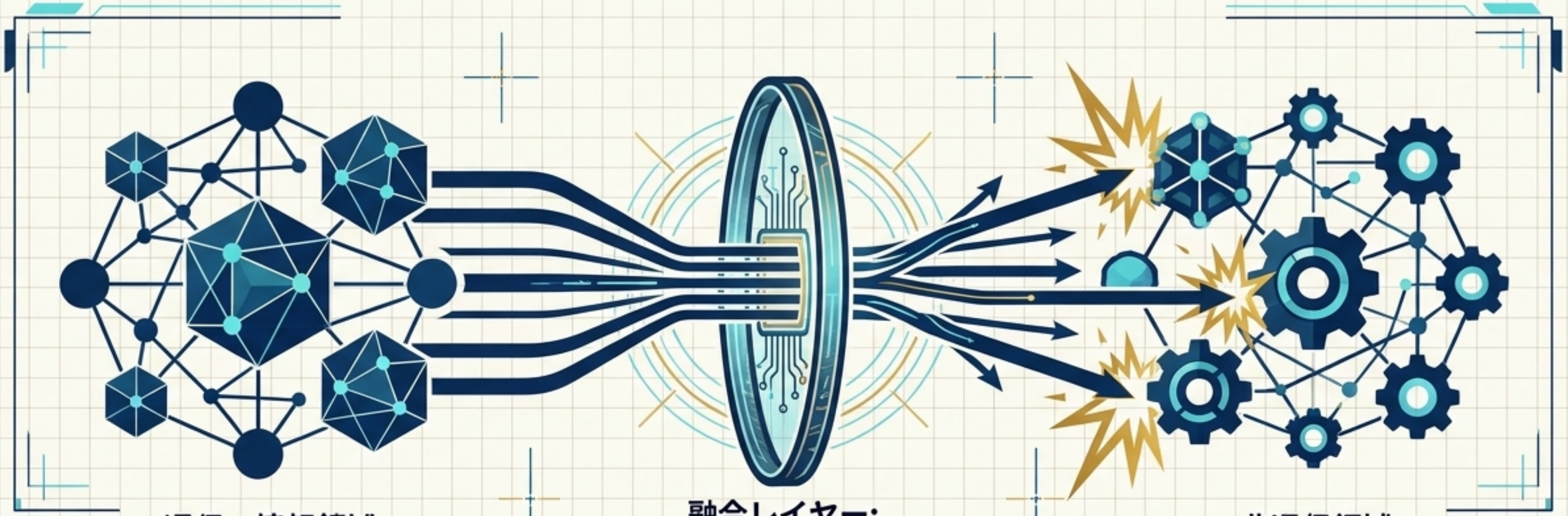
| | |
|---|---|
| 論点 | 未公開情報の大規模言語モデル（LLM）入力による「秘密管理性」の喪失。 |
| 統制 | SLM（軽量モデル）の併用、匿名化ルールの徹底、機密区分別アクセス制御。 |

## 他社特許抵触（FTOリスクの急増）

| | |
|---|---|
| 論点 | 開発スピード極限加速による事前調査の漏れ。 |
| 統制 | 開発初期からのAIスクリーニング、重要ゲートでの専門家クリアランス判定。 |

Gemini Notebook

# 標準必須特許（SEP）の非通信分野への不可避的波及



通信・情報領域
(5G/6G, SEP)

融合レイヤー:
次世代半導体・光電融合
(IOWN)

非通信領域
(自動車, 産業機械, 製造)

## 波及のメカニズム

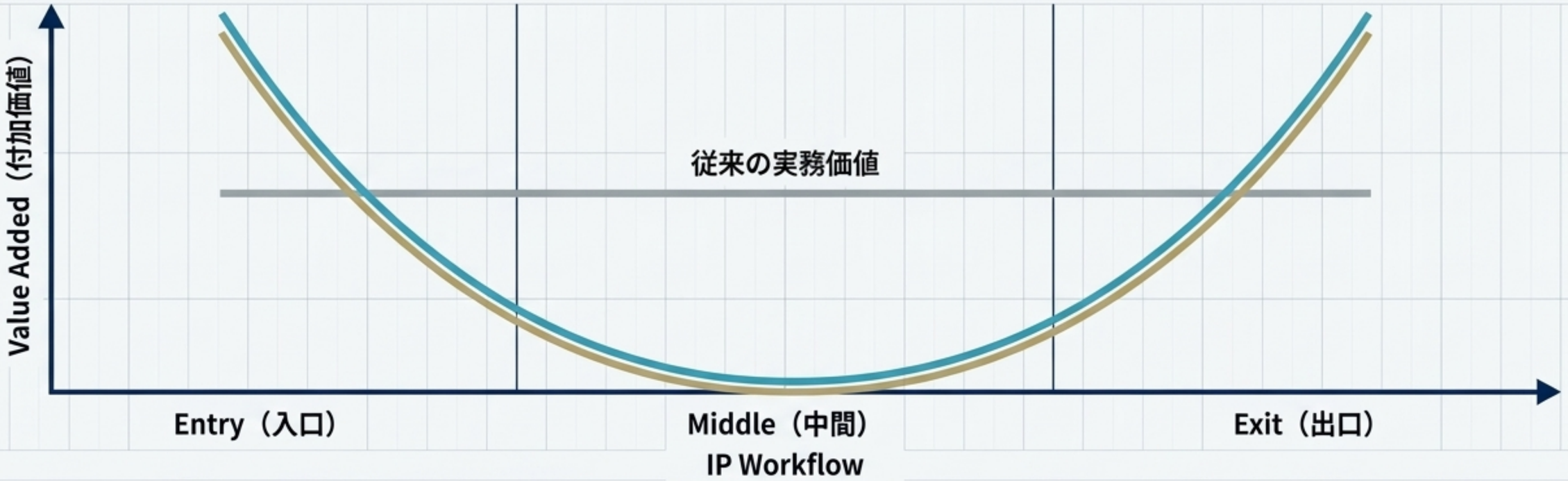
半導体の微細化限界、3D積層、光電融合により、
通信・情報処理・材料工学の境界領域が完全に消失。

## 戦略的要請

自動車や産業機械がグローバルなSEP交差の標的に。
サプライチェーン全体を視野に入れた「誠実交渉指針」
に基づく異業種間ライセンス防衛網の策定が急務。

Gemini Notebook

# 知財業務の「スマイルカーブ現象」




### 入口（発明発掘・課題設定）[High Value]

技術開発の源流での本質的課題発掘。事業戦略に合致するクレーム思想の設計。

### 中間（調査・ドラフティング）[AI Automated / Low Value]

大量文献の読解、定型書式化、検索式作成。AIツールへの急速な置換により相対的価値が急落。

### 出口（戦略・収益化）[High Value]

知財データの経営言語への翻訳。事業再編、アライアンス、ライセンス交渉戦略。

Gemini Notebook

# AIと人間の分業アーキテクチャ

| | AIエージェントの担務 | 人間の知財専門職 (アーキテクト) の担務 |
| --- | --- | --- |
| 入口 (Entry) | 研究開発ノートからの特徴抽出、先行技術との自動対比。 | 未開拓特許空白領域の発見、人間の関与（Conception）の証跡構築。 |
| 中間 (Middle) | 明細書の下書き、拒絶理由の論点抽出。 | ハルシネーションの排除、権利範囲の戦略的調整、審査官対応方針の決定。 |
| 出口 (Exit) | IPLダッシュボードの構築、競合ポートフォリオの可視化。 | オープン＆クローズ戦略の意思決定、経営層への投資提言。 |

Gemini Notebook

# オープンイノベーションと経済安全保障の境界マネジメント




Gemini Notebook

# パラダイムシフト：コストセンターから「無形資産のアーキテクト」への活動法進化でリポート

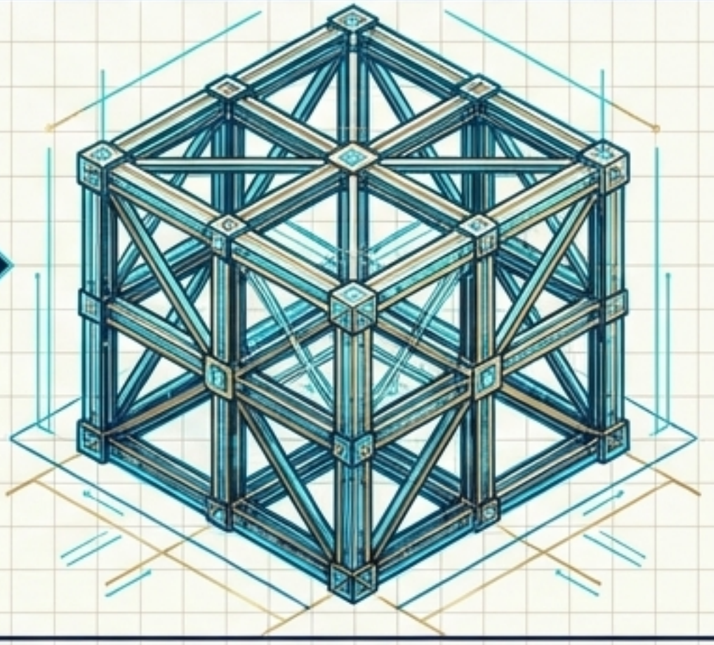
**Old Paradigm（受動的法務機能 / コストセンター）**



出願コストの抑制、権利化件数の維持、
侵害係争の防御、単一手続きの処理。

AI自動化 // 370兆円国家投資 // ガバナンス改革

**New Paradigm（経営戦略の中枢機能 / アーキテクト）**



- 政策・巨額投資の潮流の読解。
- 法制度と技術の境界線への強固な参入障壁構築。
- 企業の長期的収益力と企業価値の直接設計。

Gemini Notebook

# 集中投資期間（2027～2031年度）に向けた5年間のマスターロードマップ

### Phase 1: 即応・基盤整備（2026年下期～2027年3月）

- 高性能AI普及行動計画に伴う社内AI利用規程の改定（発明者認定エビデンス、著作権統制）。
- イノベーションボックス税制対応の所得管理基盤の確立。

### Phase 2: 集中投資連動・変革（2027年度～2029年度）

- 国家プロジェクト参画とIPランドスケープによる勝率最大化。
- AIエージェント本格実装による中間工程の削減と、戦略業務への資源再配分。

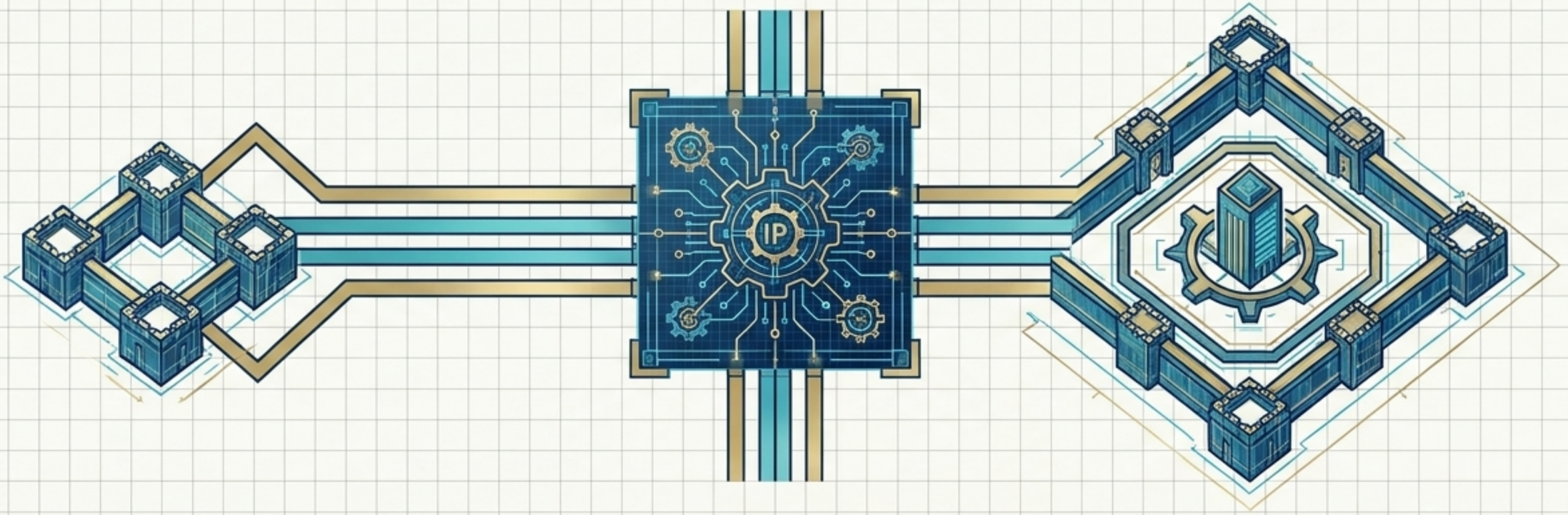
### Phase 3: 収益化・企業価値確立（2030年度以降）

- イノベーションボックス税制を活用したキャッシュフローの極大化。
- 異業種間SEP交渉プロトコルの確立と、資本市場からの高評価獲得（企業価値牽引）。

Gemini Notebook

# ルール自体が再構築される時代における、唯一の勝ち筋

知財部門が果たすべき本質的役割は、AIによる自動化の波に抗うことではない。
国家の産業政策と巨額投資の潮流を読み解き、自社技術と市場の境界線に「強固な参入障壁」を築き上げることにある。




## 自社の未来を設計する「無形資産のアーキテクト」へ。

Gemini Notebook